

提出年月日: 令和元年 9 月 12 日

提案団体名: 中日本航空株式会社

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
<p>ポータブル車載レーザ計測システムによる、高頻度の都市空間計測サービス</p> <p>1) 主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 小型・軽量・可搬性のある、車載レーザ計測器 ⇒ 軽自動車にもバイクにも手軽に搭載可能。所要1分、調整不要。 ② 操作は簡単。起動後、操作不要。長時間連続運転可能。 ③ 車上でリアルタイム処理により、高密度3次元計測点群の測量計算実施 ④ リアルタイムビューワに、点群表示。 ⑤ 大量点群データの蓄積、更新可能なデータベース。 ⑥ 低価格で販売可能。配備数を増やしてデータ収集能力を稼ぐ。 <p>2) 構成(全て民生品)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レーザ計測器(測定距離100m、精度+/-3cm、水平:全方位、垂直30°、Class 1 Eye Safe) ・RTK GNSS/IMU(後処理不要の標準装置) ・処理システム(リアルタイム測量計算、データ収録) ・リアルタイムビューワ(点群可視化) ・(オプション)パノラマカメラ ※ 技術進歩に合わせて改良可能 	(3)

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
 ※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>(3) データ保有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本サービスにより、3次元計測(点群)データを簡便かつ高頻度の取得と、蓄積が可能になる。 ・誰でも操作可能で、低価格なため配備数を増やして、広域・高頻度データ取得が実現可能となる。 ・軽自動車やバイク等に搭載することにより、従来の計測車両の入り込みにくい狭い路地や敷地内の計測も可能になる。 <p>(5) データの活用(可視化技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点群を車上でリアルタイムにわかりやすく表示するビューワにより、距離、角度、断面等の画面上確認可能である。 ・過去の計測データを搭載しておけば、車上で現地において、地形や設備の変状を確認可能。 ⇒ インフラ管理者、セキュリティ関係、自治体のパトロールで有効。 ・取得される高密度・高精度点群データは、都市のアセットマネジメントや地図・台帳更新、自動運転用測量データの更新にも利活用可能である。 	

(3) その他

上記の他、都市域において、

- ・航空レーザ計測による、位置精度10cm以上の高精度点群
- ・オプリアカメラによる3次元都市モデル

が提供可能である。
 上記の車載レーザ計測と統合して、都市のシームレスな3D情報を提供可能である。

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	連絡先(電話)	連絡先(メール)
東京支社 調測事業部 技術課 リーダー	松田 匡司 03-3567-6320	tokyo-eigyounnk.co.jp